

セラピー用メンタルコミットロボット・パロ



産業技術総合研究所

メンタルコミットロボット



- 動物のように人と共存し、身体的な触れ合いから、**楽しみや安らぎの精神的効果**を提供
- 子供からお年寄り、そして身体が不自由な人などに、「**心の豊かさ**」を提供
- ロボットに対する**主観的な付加価値**を創出

人間と動物の関係

- 動物は必ずしも仕事はしないが、人と共存
- 米国の58%の世帯が1匹以上の動物を保有
- ペット産業は約2兆円市場
- 日本では、1. 2兆円市場
- 産業用ロボットは約5千億円市場
- アニマル・セラピーの研究が活発
- 感染症、アレルギーなどの理由で、病院や施設で動物を飼えない場所が多い



アザラシ型ロボット・パロの機能 (Version 7)

身近ではないタテゴトアザラシの赤ちゃんがモデル



ロボット・セラピーによる3つの効果

- 心理的利点: 元気付ける、動機付ける
- 生理的利点: ストレス低減、血圧・脈拍の安定
- 社会的利点: コミュニケーションの増加など

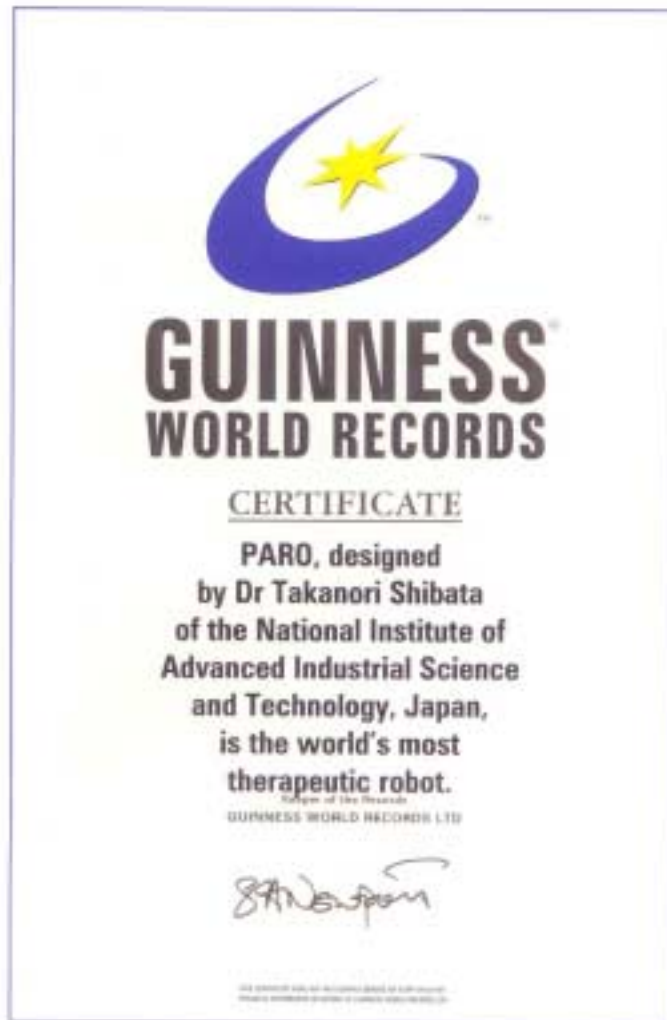


小児病棟



デイサービスセンター
介護老人保健施設

ギネス世界記録認定 (2002年2月)など パロ: 最もセラピー効果があるロボット



グッドデザイン賞
新領域部門
ロボット・セラピーの
コンセプトのデザイン